

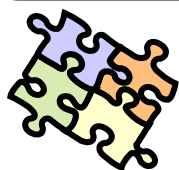
はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2009年10月1日発行

10月に入り秋も深まって、勉学・読書・芸術・スポーツ・味覚などみなさん、それぞれに秋を満喫されているではありませんか？ さて今月のはもりあ四日市は、女性のためのアサーティブ・トレーニング講座として「コミュニケーション スキルアップ講座」や、夜間映画会を開催します。

上映する映画は「森の中の淑女たち」。森の中でバスが故障し、乗っていた8人の女性達が森で生活を始めるといったストーリーです。是非ご覧ください。



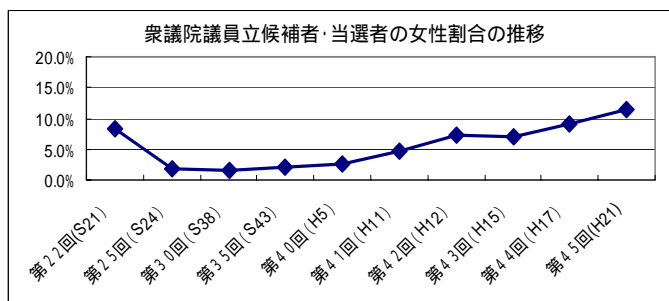
衆議院選挙で当選した女性議員は

過去最高の54人！

8月30日に第45回衆議院選挙が終わりました。9月17日には、新内閣が発足し、政府がスタートしました。政権交替となった今回の選挙は「歴史的な選挙」と報道されました。各政党のマニフェストでは子どもへの手当の新設や増額、教育費の無料化といった子育て支援政策が打ち出され、ようやく少子化対策に視点が向いてきたようです。さて、選挙の結果女性議員はどれくらい増えたのでしょうか、今回はこの点から選挙結果をみていきます。

女性議員数の推移は

過去最高の54人（全体の11.3%）で選挙前の44人（9.2%）と比べると10人の増加となりました。（参議院の女性議員は44人で18.2%）右のグラフは当選者に占める女性の割合を示しています。戦後初の第22回選挙は女性に参政権が認められた歴史的な選挙で、当選者は39人（8.4%）でした。その後は低調に推移し、昭和21年の選挙から今回の選挙までに63年が経過しているものの、わずか2.9%しか増加していないこととなります。



<世界の議会と比較すると>

2009年8月末時点の列国議会同盟（主権国家の議会による国際組織）の統計でみると女性の議席占有率は世界平均値が18.8%で、日本は加盟187カ国中99位でした。前回の139位から40位上昇したとはいえ、まだまだ国際的には遅れている現状があります。

右の表は世界の地域別の女性議員の割合です。（左が日本の衆議院、右が参議院に相当します）女性議員の割合が30%以上を占めている国のうち82%がクォータ制度（社会に残る男女格差是正のため、政策決定の場で男女の比率が偏らないようにする仕組み）を導入しています。

日本は、2020年までにあらゆる分野で、指導的地位に就く女性の割合を30%にすることを目標にしています。多様な視点を導入し、幅広い議論を行い、新たな発想を取り入れていくためには、男女が共に政策・方針決定過程へ参画することが重要です。

<地域別・両院別女性議員割合>

	下院または一院制	上院
北 欧	42.0 %	
南北アメリカ	22.4 %	20.2 %
ヨーロッパ(北欧除く)	19.4 %	19.4 %
ア ジ ア	18.3 %	16.7 %
サハラ以南のアフリカ	18.3 %	21.0 %
アラブ諸国	9.7 %	7.0 %

列国議会同盟ウェブサイト
http://www.ipu.org より作成

『森の中の淑女たち』

はもりあ四日市が、夜 9 時まで開いているのをご存知ですか？ はもりあでは、昼間は仕事や家事などでお忙しい方にも、もっと利用していただこうと、この秋から夜の映画上映会を開催していきます。

今回の映画は、異なる人生を歩いてきた 7 人の老婦人の乗ったバスが故障し、女性運転手と共に森の中の廃屋で共同生活を始めるストーリー。平均年齢 76 歳、登場する女性は一人を除いて全員が演技経験なしという映画です。

心のどこかで「高齢者はこういうもの」「女性ってこんなもの」と思っていませんか。この映画を見れば、自分の価値観や思い込みに気づく方もみえるかもしれません。映画の夕べをご一緒にしませんか。

日時 10月23日(金) 18:45~20:45

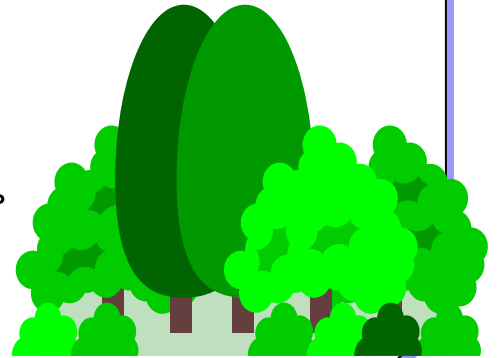
場所 はもりあ四日市 ミーティングフロア

定員 30名(申込順)

料金 無料

託児 あります(無料)16日までに申込が必要です。

問合せ・お申込は、お電話、FAX、またはメールで、
はもりあ四日市まで。連絡先は本紙裏面をご覧ください。



いよいよ発刊!! 『三重の女性史』

近現代を生きた県内ゆかりの女性たちの歩みをまとめた「三重の女性史」がこの秋発刊されます。

このコーナーでは、編纂に携わった坂倉加代子さんに、3回にわたり、この「三重の女性史」について執筆していただいています。今回は、その最終回です。

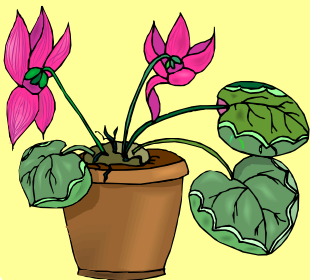
「三重の女性史」は、“通史”“聞き書き”そして“年表”からなる。通史にも年表にも三重に生きた女性たちのドラマが詰まっているが、そのドラマを裏付け、読み手の想像を助けてくれるのが、“聞き書き”だ。

助産婦、看護婦、教師、公務員や経営者、作家、社会活動に貢献した女性など開拓者である 21 人から聞き取りをしている。四日市関係者では<ジャスコ(株)取締役として、実績を残した小嶋千鶴子><四日市母親大会を第 1 回からリードし、そこから出た課題である公害問題や乳児共同保育所づくりに尽力した吉田うた><人間回復の解放運動に命をかけた山下ふみゑ>の 3 者が登場する。

わずか 2 頁にまとめられた一人ひとりの女性たちの歩みから、女性に普遍的な、見えない壁が浮き彫りにされ、その中で「私は生き抜いてきましたよ」という力強い声が届く。それは、私たちへの応援歌でもあり、私は心を揺さぶられる。その一方で、四日市港の開祖稲葉三右エ門の妻、たかはどんな人だったかと、ふと考える。当り前に生きた多勢の名もなく、貧しい市井の女性たちの声が聴きたくなる。

「三重の女性史」は、これから各市町の女性たちが史実をふくらませ、もっともっと血が通うものに完成していくものなのだろう。

何はともあれ、校正作業をしていると、通史と聞き書きと年表が響き合い、発刊できる喜びに昇華していく。



11月13日・14日に開催される「男女共同参画フォーラム」で発刊記念イベントを実施します。
場所は、三重県男女共同参画センター(フレんてみえ)です。ぜひ皆さん、ご参加ください。

DVから子どもたちを守るために



～ココがポイント！SOSを上手にキャッチ～

10月29日【木】13:30~16:00

本町プラザ1階ホール

定員100名(当日先着順)参加費:無料

子どもを持つDV被害者は、加害者の暴力で心身ともに疲れ、さらに子どもの困った行動に対して悩んでいることが多いです。たとえば、「子どもが親(友だち)を叩くなどの暴力が続いている」と相談されたら、あなたはどのように対応しますか？

DV被害は、子どもにも深刻な影響を及ぼします。深刻だからこそ、子どもたちはまわりの大人たちの支援を必要としています。

テーマに関心のある方ならどなたでも参加できます
託児のみ事前申込(10月16日まで)が必要です。

1. 講演 講師:野田 仁美さん
(心理臨床センター心理相談員)
2. ロールプレイ
東海学院大学の学生たちによる
「子どもへの対応」の実演

申し込み先:はもりあ四日市 ☎(354-8331) FAX(354-8339)(日・月・祝日は休み)

今月のおすすめ本

はもりあでは11月に健康・セカンドライフ・介護などをテーマに「男性向け生活講座」を開催する予定です。そこで今回は男性の家庭生活を応援する本を紹介します。

「男が家事をしない本当の理由

幸せな家庭の条件

家事に対する男性の意識を変えるために男性の著者が書いた本です。パートナーと協力して家事をすることが幸福な家庭につながると、男性の背中を後押しする内容ですが、家事に消極的になる心情にも触れられていますので、男女を問わずおすすめです。



「親が65歳を過ぎたら男が読む本」

親に介護が必要になったときに慌てないですむように、事前の心構え・利用できる社会資源・介護の方法について紹介しています。将来介護を経験する男性が対象の本ですが、親の介護に協力してくれるパートナーへの配慮と支援についてもさりげなく触れられています。介護保険制度が始まる前の1998年に出版された本ですので、紹介されている社会資源が古い場合もありますが、今でも参考にできる内容がたくさんあります。

今月のキーワード

ワークシェアリング

直訳すると「仕事の分かち合い」。一人の労働時間を短縮することにより、雇用の維持や創出を図ります。

オランダでは、1980年代前半の大不況で12%を超える高い失業率となりました。それを克服するため、オランダモデルといわれるワークシェアリングが進みました。労使間で話し合い、政府が様々な努力をすると共に、同一労働同一労働条件が取り決められ、フルタイム労働者とパートタイム労働者の間で時給や社会保険制度、雇用期間、昇進等、労働条件に格差をつけることを禁じる法律ができました。その結果、個人が必要だと思える収入で多様な働き方ができるようになり、失業率は2001年には2%台まで下がりました。

日本は、急激な少子高齢化に直面し、労働力人口はすでに減少に転じています。また、若い世代の失業など、雇用不安が高まっていて、ワークシェアリングにも関心が寄せられています。多様な働き方が認められれば、育児や介護など様々な制約がある人も、意欲と能力に応じて働くことができます。



登録グループイベント情報

- 10月7日(水) **高齢者のための“あさひっこ学校”**
14日(水) 「絵手紙」「お菓子作り」「なつかしの歌を歌う」など。各講座で頭や手先の体操もできます。
28日(水) 時 9:30～11:30 費 500円 所 総合会館3階会議室 又は「はもりあ四日市」調理室 定 20名(先着順)
問・申 健康サポートあさひっこ 草川(090-8863-6286) それぞれ前日までにお申し込みください。
- 10月16日(金) **「小泉八雲を読む」日本国籍ハーン先生の日本愛**
『耳なし芳一』『むじな』『雪おんな』『十六桜』を読みます。講師は河原徳子先生。
当日自由参加で予約は不要です。
時 13:30～15:30 費 500円(資料代含) 所 はもりあ四日市 会議室
問 よっかいち朗読文学の会 雨沢(TEL059-337-1873)
- 10月20日(火) **傾聴ボランティア養成講座**
21日(水) 心に寄り添う傾聴のスキル、傾聴の基礎&ロールプレイなど、傾聴ボランティアに必要な知識を学びます。
22日(木) 時 お問合せ下さい 費 1,000円(資料代)
23日(金) 所 三重県総合文化センター セミナー室A 問 『傾聴同好会』 開発(TEL059-345-5214)
- 10月27日(火) **託児付き「着物着つけ体験」**
眠っている着物に手を通してみませんか? 初めての人もどうぞ。
時 10:30～12:30 費 600円(会員300円) 着物一式の貸出し300円
問 四日市まんなかこども劇場 (TEL059-351-6670)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介していきます。今回は、健康サポートあさひっこさんです。

健康サポートあさひっこ

代表者 草川 里美 会員数 30名
連絡先 090-8863-6286

地域の高齢者の方の生きがいづくりや介護予防を目的に、四日市市総合会館・楠福祉会館にて月1回「あさひっこサロン」、年に数回「世代交流会」を開催しています。

あさひっこの活動は4年目になりますが、今年度は新たに、高齢者のための「あさひっこ学校」を12回シリーズで開講しています。この学校では毎回様々な体験(体操・歌・計算・工作・絵手紙・映画など)をしていただき、みなさんと楽しく介護予防をしています。今からでも参加できます。ご連絡お待ちしております。

登録グループさんへお知らせ

10月20日(火) 午後に登録グループ交流会を予定しています。グループの皆さん、ぜひ参加してくださいね。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>